

消防団最高の荣誉を受章

2月22日(水)、消防団に対する章で最も荣誉ある「まとい」を受章した鳥取市消防団が市役所を訪れ、西村育雄団長、福田孝幸副団長、武内 稔 副団長が竹内市長に受章の報告を行いました。鳥取市消防団は昭和23年に結成され、60年に消防庁長官表彰旗表彰、62年に日本消防協会表彰旗表彰を受章しており、災害時の迅速な出動など長年の活動が評価され、このたびの受章となりました。この「まとい」は金箔が用いられた高さ2.1尺、重さ30匁の立派なもので、駅南庁舎ロビーに展示しています。



河原第一小学校

一足先に小学生気分

2月27日(月)、河原地域の3つの小学校で、平成18年度の新入学予定児童を迎えた体験入学が行われました。このうち河原第一小学校には、4月に入学予定の児童32人が訪れ、校内の各教室を巡る学校探検をしたり、在校生とゲームを楽しんだりして、一足早い小学生気分を味わいました。先輩の1年生に連れられて職員室を見学する子どもたちもいて、4月10日の入学式が待ちどおしくてしょうがない様子でした。



佐治町総合支所

地域の資産！佐治の五「し」展示

佐治地域では、「和紙」「梨」「石」「星」「話」の5つの「し」をテーマにまちづくりを進めています。3月5日(日)、この資産を活かした「五しの展示室」が佐治町総合支所に開設されました。これは、五「し」を一室に展示し、多くの方々に地元の宝を知っていただくようと庁舎の空きスペースを活用したもので、佐治を紹介するビデオも上映されます。ぜひお越しください。※土・日も展示しています。観覧希望の方は展示責任者 岸田 ☎(0858)88-0575 まで。

青谷地区保健センター

手作り餃子は本場中国の味

3月11日(土)、以前から中国太倉市との交流を行っている鳥取市青谷町で同町国際交流協会主催の中国理解講座「作って食べよう中国料理」が行われ、鳥取市国際交流員、戴文艶さんを講師に10人の受講生が水餃子とスープ作りに挑戦しました。受講生のみなさんは餃子を皮から作るの初めてとあって、なれない手つきで生地をこねていくと、約2時間で200個の餃子が完成。戴さんを囲んでの試食会では、ぷりぷりとした水餃子の食感に参加者は大満足で、中国の食文化に触れるよい機会となりました。



流しびなの館

みんなで歌って気持ちは一つ

3月3日(金)、流しびなの館ふれあいホールで、「第18回流しびなの館で童謡を歌う会」が開催されました。立見ができるほど超満員となったホールでは、園児や児童の元気いっぱいの合唱や、コーラスグループによる童謡が次々に披露され、演目の合間には、流しびな博士が流しびなにまつわるクイズで会場を盛り上げました。子どもからお年寄りまで一緒に童謡、唱歌を歌い、楽しいひな祭りとなりました。

